

中央支部だより

発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
(有)シーエス

中央支部 いよく活動開始

コロナ禍の中、皆様も感染対策など毎日を心配の中で過ごされていることと存じます。

中央支部においても、コロナの影響で施設の利用停止や福祉バスの運行中止（令和3年3月末まで）などにより、活動が出来ない状況でしたが、現在は緩和により制限範囲内で活動を再開しました。皆様にはご迷惑をおかけいたしておりますが、現在までの活動状況をお知らせいたします。

4月（中止）

・配食・代議員会・女性部総会

5月（中止）

・配食・しあわせサロン散策

6月（中止）

・支部委員、福祉推進員、

むつみ会員、広報委員研修

・支部委員会

・女性部研修

（実施）支部広報誌発行

7月（中止）

・配食

（実施）会員会費の取組み

8月（中止）

・女性部正副班長会議・配食

（実施）配食対象者への訪問活動

9月（中止）

・配食

・敬老会の式典（記念品は配布）



北山公園の紅葉

10月（実施）

・高齢者親善交流会・配食

11月（中止）

・女性部正副班長会議

・たけのこ交流会

（実施）配食・支部広報誌発行

終わりに、今は紅葉の季節です。

素晴らしい写真を掲載しましたので

皆様の心の癒しにしてください。

高齢者親善交流会

みんなで楽しく
元氣よく

10月2日（金）柿橋グラウンドにおいて、60歳以上を対象とした総勢77名の参加の中、高齢者親善交流会を開催しました。当日は雲一つない絶好の日となり、「検温・手の消毒・マスク着用」などコロナ対策を十分に行い、9時30分にプレーを開始しました。

グラウンドゴルフの部は47名（男22名・女25名）が参加し、2コース（16ホール）に挑戦しました。途中休憩を挟みながら、2年振りの交流会（昨年は雨で中止）に、皆さんも元氣いっぱいプレーしていました。ホールインワン達成者は5名でした。

輪投げの部は20名（男8名・女12名）が参加をしました。男女2組ずつ4組に分かれ、練習を行ってから本番の3m、4m、5mに挑戦しましたが、なかなか思うようにいかず輪を投げるたびに一喜一憂しておりました。

今年度は、競技中もマスク着用やソーシャルディスタンスを意識した親善交流会でしたが、皆さんのご協力により予定通り、全日程を無事に終了することができました。

昼食は、3密を避けるため、持ち帰りとなりました。

以下、各競技の成績です。

○グラウンドゴルフ

男性の部

優勝	中塚孝七
準優勝	土田梧朗
第3位	矢口征夫



女性の部

優勝	高村はる江
準優勝	星みぐさ
第3位	安達洋子

◎ホールインワン達成者

男性の部

3名	矢口征夫
	青木清松
	平岡義治
	星みぐさ
	高村はる江

女性の部

2名	星みぐさ
	高村はる江

○輪投げ

男性の部

優勝	篠原次郎
準優勝	井川征夫
第3位	長谷川和由

女性の部

優勝	神永ます
準優勝	山本とし子
第3位	塩畑初江

○特別賞（米寿）

藤井孝尾
福島博



10月より 配食再開

新型コロナウイルスの影響で3月より中止していた配食は、感染症対策がステージ2に下がり、社協の施設利用も少し緩和されたことを踏まえ、安全面に注意を払いながら8ヶ月振りに、10月より配食を再開しました。

10月23日の当日は、安全対策として「検温・手の消毒・マスク着用」

を徹底、当番の青葉町女性部の皆さんも、2時間という時間制限と調理人14人という条件の中で、丹精込めて調理や盛り付けを行い、対象者79人（110個）のお弁当を作り上げました。

その後、むつみ会と支部委員の皆さんと共に2人一組で「お元気ですか」の声掛けをしながらお弁当をお届けしました。お弁当は100円ですが、「楽しみにしています」と笑顔での返答に、やりがいを感じ元気をいただきました。

また当日は、常磐大学生の（館悠

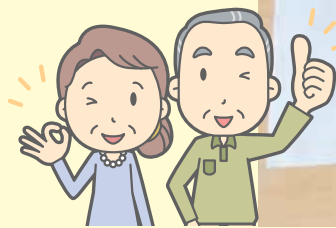
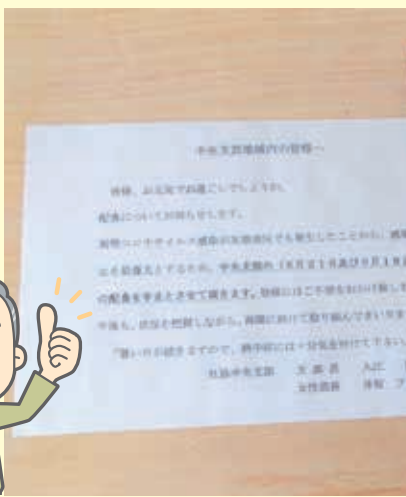


貴）さんが実習生として参加し、盛付けや配食と一緒に、「貴重な体験をしました」と大変喜んでおりました。

最後に、配食にかかわった人達にもお弁当を配り終ったとなりました。地域の対象者の皆様からは「久しぶりで嬉しかったよ。」「美味しかったよ。」「との声がかれました。

配食対象者の安否確認

配食中止期間中の8月5日には、支部役員が配食対象者の皆さんの安否確認を行いました。しばらくお会いしていなかったため、「お手紙とお茶菓子」をお届けしながら、「お元気ですか」と声を掛けさせてもらいました。皆さんには久しぶりの再会を大変喜んでいただきました。



四十七個の花を付けた「たかさご」

大沢中一区

中村 美千代

毎年家の庭先に、御盆の時期に十株近くの百合の花が咲き楽しみにしています。今年はその一本に写真にある様に四十七個の花が咲きました。百合の花の名は「たかさご」という百合科の原種だそうです。世の中にはびっくりする事が多々ありますが、わが家のこの様な現象に人間の感情は身勝手ですから、喜び、おどろき、不安、不吉な前ぶれなどを



感じました。これが家族の気持ちでした。ところが花を見に来ていた人達から逆に笑顔を与えられました。たいへん感謝致しております。来年も見事な百合の花が咲く事を祈りたいと思います。

あとがき

今年度は、コロナ禍によって、計画された活動ができない状態でありましたが、10月に入り高齢者親善交流会を予定通り実施することができました。活動に参加された皆様、ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルスの第三波のなかにあります。これから、インフルエンザにもかかりやすい季節になっていきます。今まで通り、マスクや手洗い・うがいをして、さらに換気を忘れずに健康な生活をおくりましょう。来年こそは、新型コロナウイルスを撃退できる年にしたいものです。

（福島）

